

英語 2026 年度一般選抜 出題の意図

ABC 日程・特別日程において、空所補充、会話文、整序英作文、内容一致問題など複数の形式を通して、受験者が英文の構造や文脈を的確に捉え、必要な情報を整理して判断できるかを確認することをねらいとする構成となっている。また、長文については、幅広い題材を扱うことで、さまざまな英文に対する読解力と、文法・語法・語彙・イディオムに関する知識の運用力を評価している。普段の学習で使用している文法問題や長文問題の問題集などを通して、さまざまな出題形式のパターンに慣れておき、過去問題に取り組んでいくことが、有効な対策方法である。

・ABC 日程

大問Ⅰでは 1 ページ弱の文章の空所補充の問題を通して、文章の内容を読み取る力と、英文法・語法・語彙・イディオムの知識を確認することをねらいとしている。

大問Ⅱでは会話文において、会話の流れや発話の意図を把握し、空所に入る適切な文を選ぶことができる力を確認することをねらいとしている。

大問Ⅲでは長文を読み、その内容を正しく理解できる力を問うている。問題を解く際の、前後の文脈を手がかりに内容を読み取る力が問われている。

大問Ⅳでは一般的な話題を扱った整序英作文を通して、与えられた日本語の内容を英語で表現するための文法・語法の知識を有しているかが問われている。

大問Ⅴでは長文を読み、文章の内容を正確に読み取る力が問われている。文章中の情報を整理し、内容に合う選択肢または内容に合わない選択肢を判断できるかを評価している。

大問Ⅵでは日常生活に関わる短文において、英文法・語法などの知識が問われている。

・特別日程

大問Ⅰでは会話文において、前後の流れを把握し、空所に入る適切な文を選ぶことができる力を確認することをねらいとしている。

大問Ⅱでは 1 ページ強の長文を読み、その内容について正しいものと正しくないものを判別することができる力を確認することをねらいとしている。

大問Ⅲでは一般的な話題を扱った整序英作文を通して、与えられた日本語の内容を英語で表現するための文法・語法の知識を有しているかが問われている。

大問Ⅳでは日常生活に関わる短文において、英文法・語法などの知識が問われている。

大問Ⅴでは 1 ページ強の長文を読み、文章内容の正誤問題の他に日本語訳、英訳する力を確認することをねらいとしている。

ABC 日程、特別日程すべてにおいて、高校で学ぶ基本的な英文法・語法を理解しているか、語彙・イディオムの知識と英文を正しく読み取る力を有しているかを確認することを目的としている。全体を通して、大学での学修に必要な英語の基礎力が備わっているかを、総合的に測っている。

国語 2026 年度一般選抜 出題の意図

ABC 日程・特別日程において、高校で身につけた国語の基礎的な知識・技能と、文章を正確に読み取る力を見ることを目的としている。論理的な文章を素材とし、漢字や語句に関する基礎知識に加えて、内容・理由説明や文脈把握など、文章に対する総合的な読解力を問うことを意図とした構成となっている。大学での学修に必要となる国語の基礎力が備わっているかを総合的に測っている。

・ABC 日程

大問一、大問二ともに文章は論理的な文章を中心としてさまざまなテーマが取り扱われている。漢字問題については、文章の内容にあてはまる漢字を確認するだけでなく、選択肢の文章に用いられている漢字も判別しなければならない力が問われている。空欄補充問題については、該当部分の前後のつながりを中心として、文章の内容から判断をしていかななくてはならない問題を混ぜることで、さまざまな読解力が問われている。その他にも、傍線部の内容について問う問題や、傍線部の内容についてまとめた文章についての内容理解を問う問題、文章全体の内容についての正誤問題など日程・大問によって、さまざまな出題パターンの問題が出題されており、その場での対応力を問うことも意図している。

・特別日程

3 ページ程度の文章を読み、文章中の漢字の読み仮名を問う問題、要約問題、論述問題、空欄補充問題といった、記述式でしか問うことのできない問題が出題されている。漢字の基礎的知識、文章の内容を読み込みまとめる力、自分自身の考えを与えられたキーワードを用いて論述する力、文章の内容を正しく判断する力など、マーク式の問題では出題されることのない形式とすることで、国語の総合力を読み取ることをねらいとしている。

全日程を通して、漢字・語句に関する基礎知識、傍線部の理由や具体例を問う読解問題、文脈把握や論旨の理解を測る問題が網羅的に出題されている。また、本文の空欄補充については、空欄の前後や文章の一部分だけで判断するのではなく、具体例と主張の関係や対比構造、段落展開を踏まえて文章全体の流れや論旨を理解できるかを測っている。普段からさまざまな文章問題を解き、多くの出題パターンに慣れておくことで、解き方を判別できるようにしておき、過去問題を実践することが入試対策の有効な方法となる。

数学 2026 年度一般選抜 出題の意図

ABC 日程において、高校数学における基本定理の定着度やその意味・活用方法を中心とした基礎的な理解力を評価することを目的としている。第 1 問から第 3 問まで、いずれもマークシート方式の穴埋め形式で構成されており、これら 3 題を通して、大学での学修に必要な基礎力が総合的に備わっているかどうかを測る内容である。

第 1 問は、5 題から構成される小問集合であり、数学 I・数学 A の各分野から網羅的に出題している。小問集合であるが、一つ一つの問題で使用する公式が多くあり、基礎知識の定着および計算力の正確性を評価することを目的としている。

第 2 問は、2 次関数に関する問題である。文字を含む式の変形や最大・最小の考え方、共有点の捉え方、座標平面上での図形の面積など、2 次関数に関する知識について正しく理解できているかどうかを問うている。

第 3 問は、データの分析に関する問題である。ヒストグラムや箱ひげ図、散布図といった各種グラフについて、データを適切に読み取る力と、外れ値や相関係数などの基礎知識の定着を問うている。

いずれの問題も、数学 I・数学 A の基本事項の定着と計算力に加え、条件整理から解法選択、解答導出までの一連の思考過程が適切に行えるかを問う内容となっている。

今年度の問題は ABC 日程とも大問の出題内容が 2 次関数とデータの分析であったが、どの内容が出題されても対応できるよう、日々の学習を継続し着実に進めていくことが大切となる。

学校で使用されている教科書・問題集の問題を確実に解けるようにし、弱点となる分野があれば、市販の問題集を用いて補強するなどし、最後は過去問題の演習・実践を通して、出題のパターンに慣れていくことが有効な学習方法である。

生物基礎・化学基礎 2026 年度一般選抜 出題の意図

<生物基礎>

ABC 日程とも生物基礎の各単元から幅広く出題されており、基礎的な知識を正確に理解しているかを問うとともに、それらの知識を関連付けて活用できるかを評価することを目的としている。知識を問う問題だけでなく、原理や仕組みに基づいて理解しているかどうか重点を置いた出題となっている。

ABC 日程を通して、第 1 問は生物の多様性と共通性の単元、第 2 問は遺伝情報と発現の単元、第 3 問はヒトの体内環境の調節の単元から出題されているが、詳細の内容は日程によって異なるため、幅広い学習が求められる。また、生物分野は全体として、基礎知識の定着を評価する内容となっており、実験に関する問題を通して、与えられた情報を適切に読み取ったり、実験操作の目的や結果を考察したりする力が求められる。さらに、正しい文章を選択する問題については、知識の正確性を細かく評価する内容となっている。

<化学基礎>

ABC 日程ともに化学基礎の基本事項をどの程度理解しているか、適切に計算できるかを評価することを目的としている。各設問が独立したマーク形式の問題であり、化学基礎の全単元から幅広く出題することで、化学基礎全体に対する総合的な習熟度を測っている。

全体を通して、物質の三態と同素体、固体の溶解度、溶液の調整、周期律、化学反応式、酸化と還元、身のまわりの具体的な事例に関する実践問題など化学基礎の範囲から網羅的に出題されている。化学分野は全体として、教科書レベルの知識を活用することができるかどうかを測っている。知識問題は、単純な一問一答式ではなく、正誤判断などの形式がとられていることから、幅広く、確実に基礎固めを行う必要がある。また、問題文を読み取り、どのような化学変化が起きているかを考察し、それに即した計算問題で具体的な数値を導く力を評価する。

生物基礎・化学基礎ともに、学校で使用されている教科書の内容を細部まで精読し、知識の整理をしておくことが大切となる。そのうえで、市販の問題集などで実践を積んでいき、ある程度の問題が解けるようになれば過去問題に取り組み、出題形式に習熟しておくことが求められる。

生物基礎・生物 2026 年度一般選抜 出題の意図

ABC 日程ともに、生物基礎・生物の各分野から幅広く出題し、基本事項および基礎的な知識を正確に理解しているかを問うとともに、それらの知識を関連付けて活用することができる総合的な力を評価することを目的としている。各事項の背景について、結論までの経緯を、論理的に考えることができているかどうかにより重点を置いた出題である。前半では生物基礎の範囲、後半では生物の範囲からの出題である。

生物基礎では、生物の多様性と共通性の単元、遺伝情報と発現の単元、ヒトの体内環境の調節の単元と、問題の流れは ABC 日程で統一されているが、出題内容は日程ごとに異なるため、幅広い学習が求められる。

生物では、代謝の単元、遺伝情報の発現と発生の単元、生物の環境応答の単元と、生物の単元のなかでも入試で出題されやすい分野が出題されているが、どの分野が出題されても対応できるようにしておく必要がある。

全体として、知識を正確に把握していることを前提とし、さらに実験に関する問題を通して、与えられた情報を適切に読み取り、実験操作の意図や結果を考察する力が求められる。さらに、正誤判定や適切な文章選択の問題を多く取り入れることで、知識の曖昧な理解ではなく、正確で確実な知識の定着度を測る構成となっている。

生物基礎・生物の教科書の内容を細部まで精読し、基本的事項をまとめていくなどして効率よく学習しておくことが大切となる。実験問題が多く出題されている問題集などで実践を積んだあと、過去問題を数年分解くなどして、出題傾向を把握しておくことが望ましい。

化学基礎・化学 2026 年度一般選抜 出題の意図

ABC 日程とも化学基礎・化学の基本事項をどのくらい理解しているか、計算問題を正しく処理できるかどうかを評価することを意図している。各設問が独立したマーク形式の問題であり、前半では化学基礎の範囲から、後半では化学の範囲からの問題が出題されている。

化学基礎では、物質の三態と同素体、固体の溶解度、溶液の調整、周期律、化学反応式における量的関係、酸化と還元、身のまわりの具体的な酸と塩基に関する実践問題など網羅的に出題されている。

化学では、金属に関する問題、有機化合物に関する問題、典型的な元素分析の計算問題、アセトンの性質、化合物の組み合わせに関する問題、けん化価から油脂の分子量を求める問題、芳香族化合物に関する問題など網羅的に出題されている。

全体的に、化学基礎の範囲からは、計算を含む問題が多く出題されており、化学の範囲からは、脂肪族有機化合物に関する問題が多く出題されている。教科書や問題集で頻出の計算問題もいくつか出題し、基礎学力定着の有無を評価している。また、単純な暗記問題だけでなく、覚えている事柄を活用して解答を導く問題も出題している。

化学基礎・化学の教科書の内容を隅々まで熟読し、基本的事項をまとめていくなどして効率よく学習しておくことが求められる。さらに、実験問題や化学反応式が多く出題されている問題集で実践を積んでいき、過去問題を数年分解くなどして、出題傾向を把握しておくことが望ましい。